

ナシ新品種「あきづき」の収穫適期判定法

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センタ - 園芸研究所

ナシ新品種「あきづき」は、糖度の上昇などよりも早く果色が赤褐色に変化する傾向があるため、未熟果を収穫してしまう場合があります。そこで、最初に満開後 33 日間の平均気温から収穫始期を予測し、次に、地色、糖度、澱粉反応などを定期的に測定して総合的に収穫期を判定します。地色 4.0、糖度 12%以上、澱粉反応 2.0 以下を目安に収穫します。

ナシ新品種「あきづき」の特性

(独)農業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所で育成されたナシ新品種「あきづき」は、9月中旬～10月上旬に収穫となる食味良好な赤ナシです。「あきづき」は、糖度の上昇などよりも早く、果色が赤褐色に変化する傾向があります。



写真1 赤褐色に着色したナシ「あきづき」

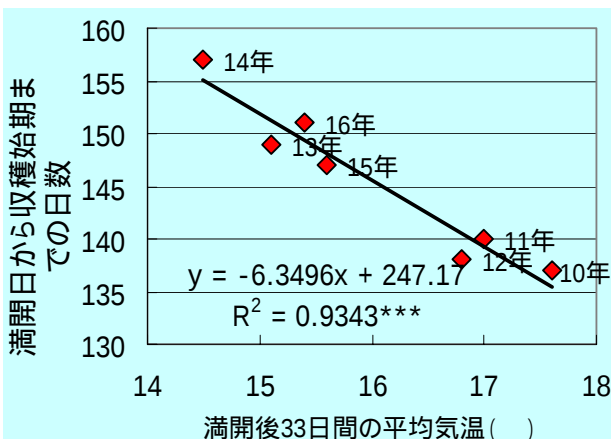


図1 満開後33日間の平均気温と満開日から収穫始期までの日数の関係

収穫始期の予測

ナシ新品種「あきづき」では、図1のような相関関係が認められたことから、満開後 33 日間の平均気温から収穫始期を予測することが可能です。

収穫適期判定基準

最初に満開後 33 日間の平均気温から収穫始期を予測し、次に、地色 4.0、糖度 12%以上、澱粉反応 2.0 以下を目安に収穫します。

表1 収穫適期判定基準

品種名	地色	糖度	澱粉反応
幸水	2.5～3.0	11%以上	1.5～2.0
豊水	3.5～4.5	12%以上	1.0～1.5
あきづき	4.0程度	12%以上	2.0以下